

特定行為研修
2026年度 秋コース
募集要項

公益社団法人
有隣厚生会富士病院

I. 研修概要

1. 特定行為とは

特定行為とは、診療の補助行為を看護師が手順書により行う場合に、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされるものとして、厚生労働省令で定められている 21 区分 38 行為をいう。

2. 富士病院看護師特定行為研修の理念

チーム医療のキーパーソンである看護師が、地域住民や患者、医師、歯科医師その他医療関係者から期待される役割を十分に担うため、医療安全に配慮し、在宅を含む医療現場において、高度な臨床実践能力を発揮できるよう自己研鑽を継続する基盤を構築するものとする。

3. 富士病院看護師特定行為研修の目的

在宅を含む医療現場において、特定行為を行う看護師として、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識・技術・態度を身につけることを目的とする。

4. 富士病院看護師特定行為研修の目標

- ① 在宅を含む医療現場において、疾患や病態の変化を包括的にアセスメントする基本的な能力を身につける。
- ② 在宅を含む医療現場において、特定行為を安全に行うための知識・技術及び態度の基礎的な実践能力を身につける。
- ③ 在宅を含む医療現場において、多職種と効果的に協働する能力を身につける。
- ④ 自らの看護の可能性を追求し、主体的に学び続ける姿勢と社会に貢献していく責任と役割のあることを自覚する。

5. 開講する看護師特定行為区分

- ① 呼吸器（気道確保に係るもの）関連
- ② 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連
- ③ 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連
- ④ 腹腔ドレーン管理関連
- ⑤ ろう孔管理関連
- ⑥ 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連
- ⑦ 栄養に係るカテーテル管理（末梢型中心静脈カテーテル管理）関連
- ⑧ 創傷管理関連
- ⑨ 創部ドレーン管理関連
- ⑩ 動脈血液ガス分析関連
- ⑪ 透析管理関連
- ⑫ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
- ⑬ 感染に係る薬剤投与関連
- ⑭ 血糖コントロールに係る薬剤投与関連
- ⑮ 術後疼痛管理関連
- ⑯ 循環動態に係る薬剤投与関連
- ⑰ 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

6. 受講パッケージ・区分及び定員

パッケージ及び 区分名	学習できる区分及び特定行為	定員
在宅・慢性期領域 パッケージ (4 行為)	<ul style="list-style-type: none"> ① 気管カニューレの交換 ② 胃瘻カテーテル若しくは腸瘻カテーテル又は胃瘻ボタンの交換 ③ 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ④ 脱水症状に対する輸液による補正 	10 名
外科系基本領域 パッケージ (7 行為)	<ul style="list-style-type: none"> ① 中心静脈カテーテルの抜去 ② 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ③ 創部ドレーンの抜去 ④ 直接動脈穿刺法による採血 ⑤ 脱水症状に対する輸液による補正 ⑥ 感染徴候にある者に対する薬剤の臨時的投与 ⑦ 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整 	
術中麻酔管理領域 パッケージ (8 行為)	<ul style="list-style-type: none"> ① 経口用気管チューブまたは経鼻用気管チューブの位置の調整 ② 侵襲的陽圧換気の設定の変更 ③ 人工呼吸器からの離脱 ④ 直接動脈穿刺法による採血 ⑤ 橈骨動脈ラインの確保 ⑥ 脱水症状に対する輸液による補正 ⑦ 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整 ⑧ 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 	
区分受講	<ul style="list-style-type: none"> ① 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ② 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ③ 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 ④ 腹腔ドレーン管理関連 ⑤ ろう孔管理関連 ⑥ 栄養に係るカテーテル管理（CVC 管理）関連 ⑦ 栄養に係るカテーテル管理（PICC）関連 ⑧ 創傷管理関連 ⑨ 創部ドレーン管理関連 ⑩ 動脈血液ガス分析関連 ⑪ 透析管理関連 ⑫ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ⑬ 感染に係る薬剤投与関連 ⑭ 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 ⑮ 術後疼痛管理関連 ⑯ 循環動態に係る薬剤投与関連 ⑰ 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連 	
共通免除	既に共通科目を修了している方が上記区分を選択できます	10 名

※パッケージに区分を追加しての受講もできます。
 ※認定看護師の方の受講も可能です。

7. 研修期間予定

【共通科目受講者】

2026年8月29日(土)	9:00~	WEBオリエンテーション
10月1日(木)	~12月31日(木)	Eラーニングの受講・演習・手順書作成
2027年1月4日(月)	~1月15日(金)	集合演習・OSCE
1月18日(月)	~3月29日(月)	臨地実習
3月31日(水)		修了

【共通科目免除者（区分のみの受講者）】

2026年8月29日(土)	9:00~	WEBオリエンテーション
10月1日(水)	~11月27日(金)	Eラーニングの受講・手順書作成 演習・OSCE
演習・OSCE終了後	~3月29日(月)	臨地実習
3月31日(水)		修了

※大まかな予定となります。詳しくは受講決定後にお伝えします

※感染症拡大による、当院の感染対策委員会の指示等により研修予定が変更となる場合がございます

8. 研修場所

【Eラーニング】

- インターネット環境が整っていれば場所/時間を問わずどこでもできます。
- 概ね最低1日6時間程度の学習が必要となります。所属施設の協力が不可欠です。

【演習】

- microsoft teams を使用してオンラインで行います。
- 共通科目「フィジカルアセスメント」の一部は、演習室での集合演習となります。

【OSCE】

- 富士病院の演習室を利用して実施します。

【臨地実習】

- 原則自施設において実施します。
- 研修終了後の有効な特定行為の実践は、医療安全の基盤と継続した指導監督によるものと考えているため、原則自施設での実習をお願いいたします。実習協力施設として登録が必要となるため、連携協力体制（指導者^{*}、医療安全管理、緊急時の対応、同意説明、症例数の確保等を満たす体制）に関する書類を作成にご協力いただきます。
- 富士病院での実習をご希望の場合、実習定員数によりご希望に添えない場合がございます。
- 実習症例数が足りない場合は、関連施設での実習を行います。

実習施設

- 公益社団法人有隣厚生会富士小山病院
- 公益社団法人有隣厚生会東部病院
- 医療法人社団駿栄会御殿場石川病院
- 公益財団法人復康会沼津中央病院
- 聖隷訪問看護ステーション千本
- 医療法人社団一穂会 西山病院グループ
- みんなの在宅診療所
- 沼津グルメ街道クリニック ほか

9. 教育内容

研修は、「共通科目」と「区分別科目」に分かれており、原則的に「共通科目」を修得した後に、選択したモデルの「区分別科目」を履修します。

共通科目、区分別科目共にEラーニングを受講し、試験の合格後に演習、実習となります。

【共通科目】

共通科目	総時間数	Eラーニング	演習・実習	試験
臨床病態生理学	30 時間	27 時間	2 時間	1 時間
臨床推論	45 時間	35 時間	9 時間	1 時間
フィジカルアセスメント	45 時間	39 時間	5 時間	1 時間
臨床薬理学	45 時間	35 時間	9 時間	1 時間
疾病・臨床病態概論	40 時間	34 時間	4 時間	2 時間
医療安全学・特定行為実践	45 時間	22 時間	22 時間	1 時間
合計	250 時間	192 時間	51 時間	7 時間

【区分別科目】

区分別科目	総時間数	Eラーニング	演習	OSCE	試験
1. 呼吸器（気道確保に係るもの）関連	11 時間	9 時間	-	1 時間	1 時間
2. 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	30 時間	21 時間	8 時間	-	1 時間
3. 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	10 時間	8 時間	-	1 時間	1 時間
4. 腹腔ドレーン管理関連	9 時間	8 時間	-	-	1 時間
5. ろう孔管理関連	25 時間	22 時間	-	2 時間	1 時間
6. 栄養に係るカテーテル管理 （中心静脈カテーテル管理）関連	8 時間	7 時間	-	-	1 時間
7. 栄養に係るカテーテル管理 （末梢型中心静脈カテーテル管理）関連	17 時間	8 時間	7 時間	1 時間	1 時間
8. 創傷管理関連	36 時間	34 時間	-	1 時間	1 時間
9. 創部ドレーン管理関連	6 時間	5 時間	-	-	1 時間
10. 動脈血液ガス分析関連	16 時間	13 時間	-	2 時間	1 時間
11. 透析管理関連	14 時間	10 時間	3 時間	-	1 時間
12. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	17 時間	14 時間	2 時間	-	1 時間
13. 感染に係る薬剤投与関連	30 時間	25 時間	4 時間	-	1 時間
14. 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	17 時間	13 時間	3 時間	-	1 時間
15. 術後疼痛管理関連	9 時間	7 時間	1 時間	-	1 時間
16. 循環動態に係る薬剤投与関連	29 時間	23 時間	5 時間	-	1 時間
17. 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	33 時間	28 時間	4 時間	-	1 時間

※1. 3. 5. 7. 8. 10 は OSCE があります。

※特定行為ごとに概ね 5 症例の実習を行います

【パッケージ】厚生労働省が指定した、特定行為パッケージ
在宅・慢性期領域パッケージ

特定行為科目	総時間数	Eラーニング	演習	OSCE	試験
共通科目	250 時間	192 時間	51 時間		7 時間
1. 気管カニューレの交換	68 時間	60 時間	1 時間	3 時間	4 時間
2. 胃瘻カテーテル若しくは腸瘻カテーテル又は胃瘻ボタンの交換					
3. 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去					
4. 脱水症状に対する輸液による補正					
合計	318 時間	252 時間	52 時間	3 時間	11 時間

※1. 2. 3. は OSCE があります。

※特定行為ごとに概ね 5 症例の実習を行います

外科系基本領域パッケージ

特定行為科目	総時間数	Eラーニング	演習	OSCE	試験
共通科目	250 時間	192 時間	51 時間		7 時間
1. 中心静脈カテーテルの抜去	104 時間	89 時間	6 時間	2 時間	7 時間
2. 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去					
3. 創部ドレーンの抜去					
4. 直接動脈穿刺法による採血					
5. 脱水症状に対する輸液による補正					
6. 感染徴候にある者に対する薬剤の臨時の投与					
7. 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整					
	354 時間	281 時間	57 時間	2 時間	14 時間

※2. 4 は OSCE があります。

※特定行為ごとに概ね 5 症例の実習を行います

術中麻酔管理領域パッケージ

特定行為科目	総時間数	Eラーニング	演習	OSCE	試験
共通科目	250 時間	192 時間	51 時間		7 時間
1. 経口用気管チューブまたは経鼻用気管チューブの位置の調整	79 時間	63 時間	7 時間	3 時間	6 時間
2. 侵襲的陽圧換気の設定の変更					
3. 人工呼吸器からの離脱					
4. 直接動脈穿刺法による採血					
5. 橈骨動脈ラインの確保					
6. 脱水症状に対する輸液による補正					
7. 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整					
8. 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整					
	329 時間	255 時間	58 時間	3 時間	13 時間

※1. 4. 5. は OSCE があります。

※特定行為ごとに概ね 5 症例の実習を行います

【モデル】受講生が選択しやすい特定行為区分を集約したモデル

富士病院の特定行為研修では、受講生がご自身の活躍ビジョンに合った特定行為を習得できるよう、6つのモデルを展開しています。すべてのモデルは初めて特定行為研修を受講される方が対象となっています。

基本モデル	共通科目と看護の基本でもある食事に該当する 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の習得を目指すモデル
全受講モデル	共通科目と高度急性期以外の医療現場での活用を想定した 多くの科目の習得を目指すモデル
急性期モデル	共通科目と一般急性期での活用を想定した区分科目の 習得を目指すモデル
呼吸管理モデル	共通科目と呼吸管理を想定した区分科目の習得を目指すモデル
創傷管理モデル	共通科目と創傷管理を想定した区分科目の習得を目指すモデル
地域包括ケアモデル	共通科目と在宅・病院を含む地域医療における ニーズの高い区分科目の習得を目指すモデル

モデルとモデルに含まれる区分科目・時間数

		基本モデル	創傷管理モデル	呼吸管理モデル	急性期モデル	地域包括ケアモデル	全受講モデル
	共通科目	○	○	○	○	○	○
1	呼吸器（気道確保に係るもの）関連			○	○		○
2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連			○	○		○
3	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連			○		○	○
4	腹腔ドレーン管理関連						○
5	ろう孔管理関連					○	○
6	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連				○	○	○
7	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連				○	○	○
8	創傷管理関連		○			○	○
9	創部ドレーン管理関連						○
10	動脈血液ガス分析関連			○	○		○
11	透析管理関連						○
12	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	○	○	○	○	○	○
13	感染に係る薬剤投与関連		○	○	○	○	○
14	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	○			○	○	○
15	術後疼痛管理関連						○
16	循環動態に係る薬剤投与関連				○		○
17	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連					○	○
時間	Eラーニング	219 時間	265 時間	282 時間	325 時間	351 時間	447 時間
	演習	51 時間	57 時間	65 時間	80 時間	71 時間	88 時間
	OSCE		1 時間	4 時間	4 時間	5 時間	8 時間
	試験	9 時間	10 時間	13 時間	16 時間	16 時間	24 時間
	総時間数	279 時間	333 時間	364 時間	425 時間	443 時間	567 時間

※特定行為ごとに概ね5症例の実習を行います

II. 応募要項

1. 受講要件

受講申請にあたっては、次に定める要件を満たしていることとする

- ① 日本国内における看護師免許を有していること
- ② 実習までに、看護職賠償責任保険に加入すること
- ③ 実習までに、抗原抗体検査を実施し、基準に満たないものは予防接種を実施すること
- ④ 所属（施設）長からの推薦があること
- ⑤ 自施設での実習が可能であること

（⑤については必須要件としないが、地域で必要な特定行為を修得してご活躍していただきたい）

2. 選考方法

書類審査

3. 出願提出書類（エントリーシート）

- ① （様式 1）受講申請書・履歴書、既修得科目履修免除申請書
- ② （様式 2）受講申請許可書
- ③ （様式 3）課題レポート
- ④ 看護師免許の写し
- ⑤ 特定行為研修修了者は修了を証明する物の写し

※ 提出された書類は返却いたしません

4. 応募方法

下記の富士病院看護部のホームページから各種エントリーシート（ES）のファイルをダウンロードし、必要事項を入力後、指定のアドレスへファイル添付で送信してください。

※エントリーシートは6月8日（月）10:00～富士病院 HP よりダウンロードできます。

<https://www.fujihospital-nurse.jp/>

5. 出願提出書類（エントリーシート）受付期間

2026年6月8日（月）～ 2026年7月23日（木）（必着）

※受講全般、あるいは実習先についての相談を希望される方は、出願前に13ページのお問合せ先にご連絡ください。

6. 審査料納付方法

① 審査料 30,000円（税込）

② 納付期限 2026年7月23日（木）

③ 振込先

下記口座へ振り込むこと。振込手数料は受験者が負担とする。

振込銀行名：静岡中央銀行 御殿場支店

名義人：公益社団法人有隣厚生会 代表理事 若林良則

シヤ) ユウリンコウセイカイダイヒョウリジワカバヤシヨシノリ

当座 2781482

振込依頼人名

注意事項

- 既納の審査料に関しては原則返還いたしません。
- 金融機関の発行する利用明細書をもって領収書とする。
- 施設名義でのご入金に伴う請求書等の発行についてはお問い合わせください。

7. 選考結果

2026年7月27日（火）に 合否通知書を自宅へ郵送する手配をいたします。

※レターパックプラス（赤）でお送りいたします。

※到着は28日以降になりますことをご了承ください。

8. 受講手続き

合否通知の際に詳細を案内いたします。

III. 受講料

1. 受講料

① 共通科目受講料 380,000 円

② 区分科目受講料

科目	受講費用
1. 呼吸器（気道確保に係るもの）関連	¥37,000
2. 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	¥90,000
3. 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	¥33,000
4. 腹腔ドレーン管理関連	¥30,000
5. ろう孔管理関連	¥80,000
6. 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	¥25,000
7. 栄養に係るカテーテル管理（末梢型中心静脈カテーテル管理）関連	¥35,000
8. 創傷管理関連	¥90,000
9. 創部ドレーン管理関連	¥23,000
10. 動脈血液ガス分析関連	¥45,000
11. 透析管理関連	¥38,000
12. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	¥50,000
13. 感染に係る薬剤投与関連	¥80,000
14. 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	¥47,000
15. 術後疼痛管理関連	¥34,000
16. 循環動態に係る薬剤投与関連	¥100,000
17. 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	¥90,000

パッケージ受講料

在宅・慢性期領域パッケージ	579,000 円（共通科目受講料を含む）
外科系基本領域パッケージ	780,000 円（共通科目受講料を含む）
術中麻酔管理領域パッケージ	600,000 円（共通科目受講料を含む）

モデル受講料

基本モデル	477,000 円（共通科目受講料を含む）
急性期モデル	600,000 円（共通科目受講料を含む）
呼吸管理モデル	715,000 円（共通科目受講料を含む）
創傷管理モデル	912,000 円（共通科目受講料を含む）
地域包括ケアモデル	910,000 円（共通科目受講料を含む）
全受講モデル（17 区分）	1,307,000 円（共通科目受講料を含む）

* 受講料には消費税及び地方消費税含みます

* 上記費用のほかに、テキスト費用等が発生する場合がございます

* 宿泊費、交通費等は含まれておりません

* E ラーニング受講に掛かる、インターネット接続回線料等は授業料に含みません。

2. 研修受講料振込期日

2026年8月6日（木）

※可否通知の発送から研修受講料の振込期日までの期間が短いためご注意ください。

※振込手数料は受講者負担とします。また原則として入金後の返金はいたしません。

IV. 研修の評価等

1. 評価方法

- ① 受講者の知識、技能及び態度等の達成度は、筆記試験、演習評価、OSCE 評価、実習評価、レポートその他必要な方法により評価します。
- ② 筆記試験がある教科については、100点満点中70点以上を合格基準とします。
- ③ OSCE 及び実習評価は、A：できる、B：助言があればできる、C：監督下のもとできる、D：できない、の4段階で評価し、C以上を合格基準とします。
- ④ 各教育内容の具体的な評価方法、必要症例数及び提出物等は受講中に説明いたします。

2. 修了基準及び修了認定

修了認定は、所定の共通科目及び区別科目を履修し、必要な評価基準、症例数及び提出物の要件を満たした者について、手続により行います。修了認定を受けた者には、研修修了証を交付します。再試験、再評価、補講又は補習の取扱いは、受講決定後に説明いたします。

3. 辞退、中断、再開、延長及び未修了の取扱い

受講者は、やむを得ない事情がある場合、所定の手続により研修の辞退又は中断を申し出ることができます。中断した者は、所定の手続により研修再開を申し込むことができます。期間内に修了要件を満たさなかった場合は未修了となり、必要に応じて研修の延長制度の活用することができます。

V. 安全管理及び健康管理

1. 安全管理

受講者は、特定行為に係る手順書及び院内規程に従い、指導医又は指導者の指示の下で特定行為を実施します。実習に必要な同意取得は、適切な方法により行います。実習までに看護職賠償責任保険への加入その他必要な安全管理上の要件を満たす必要があります。

2. 健康管理

受講者は、必要と認める感染症に関する抗体検査、予防接種その他、実習施設における健康管理上必要な事項に対応するものとします。

VI. 受講中及び修了後の支援

1. 受講希望者に対し、出願前相談の機会を設けます。
2. 受講中の学習、実習、手続その他に関する相談については、担当が随時受け付けます。
3. 必要に応じて、研修責任者、指導医、指導者及び担当部署が連携し、受講者に対する助言及び支援を行います。
4. 修了後も、実践上の相談、所属施設との連携に関する相談その他必要な助言を行います。

【問い合わせ先】

〒 412-0043 静岡県御殿場市新橋 1784
公益社団法人 有隣厚生会富士病院 特定行為研修
担当：林
TEL :0550-83-3333 (内線 988)
Mail:tokutei@fujihospital-nurse.jp